

**うべ ECO チャレンジ (えーこっちゃん)**  
**[宇部市地球温暖化対策実行計画 (事務事業編)]**  
**平成29年度上期の取組み結果**

**1 新しい算定方式による温室効果ガスの排出量の結果**

	平成29年度上期	発生源
CO2	23,865	燃料の燃焼、電気の使用、廃プラスチック類の焼却
CH4	255	下水の処理、浄化槽による処理、ごみの焼却、自動車の走行によるもの
N2O	1,013	ボイラー、ディーゼル機関による燃焼、自動車の走行によるもの
HFC	3	カーエアコンの搭載台数によるもの
合計	25,136	

(t-CO2)

第三期宇部市地球温暖化対策実行計画への改定を機に、環境省のガイドラインに沿って排出係数や調査項目の見直しを行った。  
 ただし、過年度との排出量の比較に関して、次項のとおり旧算定方式を使う。

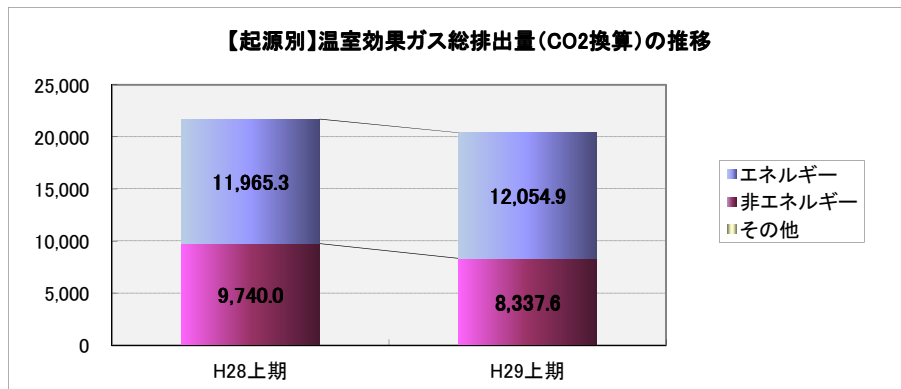
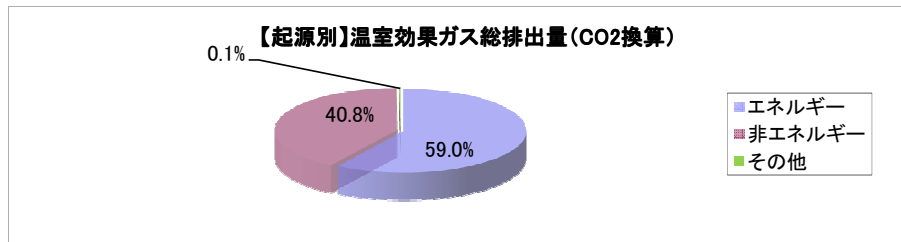
**2 旧算定方式による温室効果ガス排出量の比較**

		平成28年度上期	平成29年度上期	削減率	目標
<b>温室効果ガス排出量 (市全体)</b>		21,730.4	20,418.3	6.0%	対前年度比 2%減
<b>起源別 排出量</b>	エネルギー	11,965.3	12,054.9	-0.7%	
	非エネルギー	9,740.0	8,337.6	14.4%	
	その他	25.1	25.7	-2.4%	

**【分析結果:起源別】**

総排出量のうちエネルギー起源によるものが59.0%、非エネルギー起源によるものが40.8%を占める。  
 エネルギー起源によるものは、33日連続真夏日を記録した昨年に劣らぬ暑さから、エアコンの使用が増加したことが推測され、0.7%増加となった。

また、非エネルギー起源によるものは、ごみ焼却場で処理される可燃ごみの量とプラスチック含有量の減少で大幅に削減となった。



### 3 温室効果ガス削減のための取組みの結果

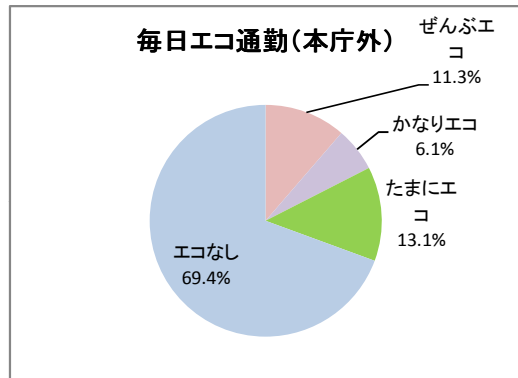
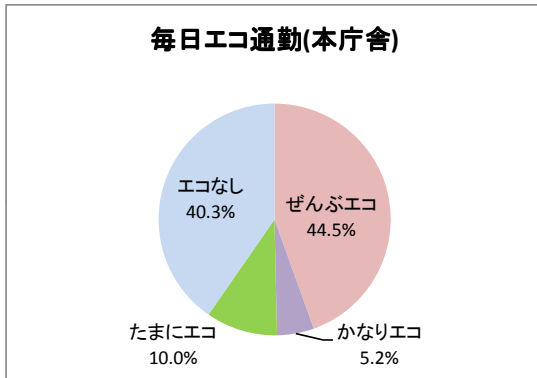
今夏も昨年なみの暑さが続き、エネルギー使用量が増加した施設が多く、数値目標を掲げた11項目のうち3項目のみの目標達成となった。

目標番号	項目	分類	H28上期	H29上期	削減率	目標	取組状況
①	グリーン購入率 (%)	市全体	99.9%	99.9%	-	購入率 100%	調達の難しいケースや適合物品がない場合を除き、各課でグリーン購入を実施できている。
②	コピー用紙 (千枚)	市全体	15,312.0	15,081.4	1.5%	前年度比 2%減	増加幅の大きい小中学校の使用量が、0.3%の微増にとどまっており、各課においても突出した増減はなく、53%の部署が削減中である。
③	燃やせるごみの総排出量 (t)	オフィス	12.6	11.7	7.4%	前年度比 2%減	文書廃棄日の搬出量が580kg増加したが、シュレッダーごみの分別開始により78%の部署が削減中であり、順調に推移している。
④	ガソリン使用量 (kl)	市全体	73.5	73.0	0.7%	前年度比 2%減	イベントの有無や新規事業の影響が使用量に現れる傾向にある。北部総合支所(地域振興課)では、災害対応が例年より少なく、最大の削減幅となった。
⑤	軽油使用量 (kl)	市全体	566.1	536.6	5.2%	前年度比 2%減	交通局のバス運行見直しにより走行距離が前年同期と比較し109,115km減となったことや廃棄物対策課のごみ収集ルート見直しとアイドリングストップの徹底による削減効果大きい。
⑥	重油使用量 (kl)	市全体	98.2	118.0	-20.1%	前年度比 2%減	下水道施設課での15kl増加が全てである。特に東部浄化センターにおいて、下水道汚泥の高温型消化槽の加温に使用されている。
⑦	灯油使用量 (kl)	市全体	553.9	617.8	-11.5%	前年度比 2%減	ごみ焼却場における64kl増加が全てである。ごみ質の低下、機械補修によるごみ供給の停止が影響した。
⑧	都市ガス使用量 (千㎡)	市全体	133.3	144.1	-8.0%	前年度比 2%減	本庁舎、記念会館、多世代交流センター、福祉会館、図書館、保健センターなどの大型施設の空調利用が増加したこと、武道館にガス式空調が新設されたことが影響した。
⑨	LPガス使用量 (千㎡)	市全体	41.9	40.5	3.4%	前年度比 2%減	ガス式空調の施設での増加が目立つが、交通局や船木ふれあいセンターにおいて大きく節減に成功した例があり、加えて学校給食センターでの使用量が減少したことで目標達成に向かっている。
⑩	電気使用量 (千kWh)	市全体	14,749.8	14,474.6	1.9%	前年度比 2%減	削減目標に達しているのは、対象部署の23%にすぎず、昨夏に続き、多くの施設でエアコンの使用が増加した。ただし、東部浄化センターの使用電力の一部を消化ガス発電で賄ったことやポンプ場を含め、処理水量が減少したことで大きな節電につながり、全体としては目標の水準にあと一歩のところである。
⑪	水道使用量 (千㎡)	市全体	251.8	254.9	-1.2%	前年度比 2%減	ときわ動物園において、鳥インフルエンザ対策として、ときわ湖のくみ上げ水から上水の利用に切り替えた影響大きい。

【エコ通勤基準】

通勤距離が5キロ以内、または利便性の高いバス路線のバス停やJR路線の駅から1キロ以内に住居がある。

目標番号	項目	⑫	毎日エコ通勤					
本庁舎	区分	エコ通勤実施率	エコ通勤 該当	エコ通勤 非該当	計	実施率 H29	実施率 H28	取り組み状況 エコ通勤該当者は69%と 昨年度比で1.3%増加し、 各部署で、朝礼などの機 会を利用して、取組の周 知・呼びかけを行うなど したものの、ぜんぶエコが 0.7%減少し、かなりエコが 0.2%増加している。
	ぜんぶエコ	100%	246	21	267	44.5%	45.2%	
	かなりエコ	50%以上100%未満	20	11	31	5.2%	5.0%	
	たまたまエコ	50%未満	31	29	60	10.0%	10.0%	
	エコなし	0%	117	125	242	40.3%	39.7%	
	H29上期計			414	186	600		
本庁外	区分	エコ通勤実施率	エコ通勤 該当	エコ通勤 非該当	計	実施率 H29	実施率 H28	取り組み状況 エコ通勤該当者は45.8% と昨年度比で0.8%減少 し、各部署で、朝礼など の機会を利用して、取組 の周知・呼びかけを行う など積極的に取組を進め たが、出先職場などでは 、立地条件・勤務形態な どにより取組が難しいこ とから、毎日エコ通勤実 施率は11.3%、かなりエ コを含めても17.5%の 低水準となっている。
	ぜんぶエコ	100%	74	22	96	11.3%	11.3%	
	かなりエコ	50%以上100%未満	27	25	52	6.1%	7.2%	
	たまたまエコ	50%未満	46	65	111	13.1%	15.2%	
	エコなし	0%	241	346	587	69.4%	66.3%	
	H29上期計			388	458	846		



目標番号	項目	⑬	エコ通勤デー		
区分	通勤者数	実行者数	実施率H29	実施率H28	取り組み状況
本庁舎	14,340	7,421	51.8%	53.6%	本庁では実施率が51.8%となっているが、出先職場などでは、立地条件・勤務形態などにより取組が難しいことから、22.2%と低い実施状況となっている。
本庁外	19,120	4,243	22.2%	24.5%	
H29上期合計	33,460	11,664	34.9%	36.6%	

